

令和5年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

外国語活動・外国語

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
3 年	○主体的にコミュニケーションを図ることに個人差がある。	○外国語を使いたくなる場面設定をする。 ○変化をもたせながら、歌やチャンツ、ジェスチャーを多く取り入れ、楽しみながら外国語の音声やリズムに慣れ親しませる。	
4 年	○学習したことを活用してコミュニケーションを図ることに個人差がある。	○歌やチャンツで音声に慣れ親しませ、スモールトークでパターン化した文を取り入れ、語彙の定着を図る。 ○コミュニケーション活動の機会を多く取り入れ、相手意識をもてるようにする。	
5 年	○外国語を聞いたり話したりすることの経験や能力に個人差が大きい。	○ペアや少人数グループなどで必然性のあるやり取りの場面を設定し、自信をもてるようにする。	
6 年	○個になると、相手意識をもって、聞いたり話したりすることに自信がない児童が多い。	○やり取りやスピーチの場面を設定し、聞き手が分かるような伝え方、話し手が話しやすい聞き方の工夫を意識させる。 ○歌やチャンツ、スモールトークで、繰り返し外国語での言い方に慣れ親しませることで、自信をもって相手と伝え合えるようにする。	

--	--	--	--